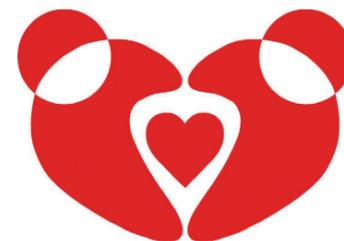


企業内人権教育啓発誌

妙蓮

みょうれん

Vol. **34**
2022
1月発行



守山市企業内人権教育推進協議会シンボルマーク

守山市企業内人権教育推進協議会
編集発行人 中塚 宗浩

<http://www.usennet.ne.jp/~mori-kjk/>

◆今後の行事予定

●第36回トップセミナー

- ・日時 令和4年2月17日(木)
午後2時～午後4時
- ・場所 守山市役所 3階 32会議室
(オンライン研修と会場研修)
会場参加定員は15名
- ・演題 「ハラスメントのない
職場環境をめざして」
～コロナ禍に起きるハラスメントを踏まえて～
- ・講師 桑野 里美 さん
(有限会社 ビジネス・パートナー・オフィス)

次年度役員改選について

令和2年度・令和3年度の役員の皆様お疲れ様でした。令和4年度より輪番制5期に入り、役員改選となります。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

ご入会のご案内

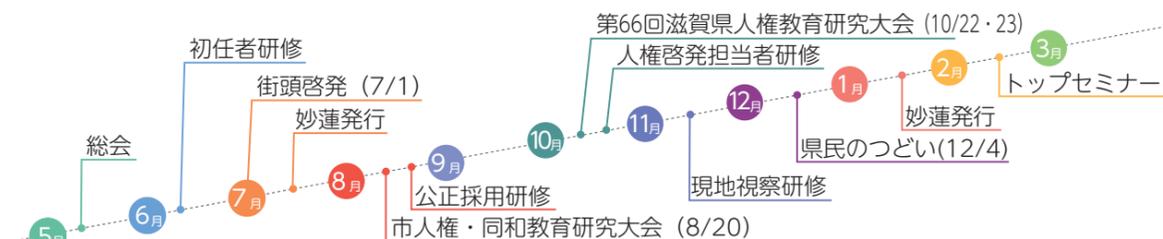
「守山市企業内人権教育推進協議会」では、企業の経営者や従業員の皆さんが、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に対する正しい理解と認識を深め、明るい職場づくりを目指して、共に学んでいこうと様々な活動に取り組んでいます。活動にご賛同いただき一緒に活動していただく企業・事業所を募集しております。

問い合わせ先

守山市企業内人権教育推進協議会事務局
(守山市役所 商工観光課内)
TEL:077-582-1131 FAX:077-582-1166

事務局からのお知らせ

守山市企業内人権教育推進協議会では、年間を通して様々な研修会等事業を実施しています。令和4年度事業につきましても、下記のとおり計画を予定していますので、積極的なご参加をお願いします。



※スケジュールは変更になることがあります。

新しい人権啓発DVDのお知らせ

「私たち一人ひとりができること
～当事者意識をもって考えるコロナ差別～」

「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べる作品となっています。



「企業活動に人権的視点を②
～会社や地域の課題を解決するために～」

企業活動にCSRや人権的視点を取り入れている組織の経営者や関係の皆様へのインタビュー、実際の取組の様子、従業員や地域の人々の声などを紹介するドキュメンタリーです。また、ユニバーサルデザイン、ワーク・ライフ・バランス、外国人雇用、LGBTへの対応、地域社会への貢献(SDGsの実践)の各事例の取組ポイントなど専門家による解説も収録しています。



「許すな「えせ同和行為」
～あなたの会社を不当な要求から守ろう～」

えせ同和をはじめとする不当要求行為の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介しています。



企業・事業所内での
人権啓発に是非ご活用ください。

◆第8回事業所内人権教育公正採用研修会報告

- ・日時 令和3年8月19日（木）午後1時30分～午後3時
- ・場所 オンライン開催
- ・参加者 28社 28名
- ・演題 「公正な採用選考について」
- ・講師 岩松 徹晃 さん（草津公共職業安定所 統括職業指導官）



当初、守山市民ホール小ホールでの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインによる開催としました。

DVD「公正な採用選考が企業にもたらすもの」を視聴し、その後、採用選考における問題事例の紹介、また、就職差別につながるおそれがある14項目や不適正質問について、わかりやすくお話しいただき、採用選考について認識を深めることができました。

アンケートより抜粋

- 差別につながるおそれがある14の事項の中には、知っておかないと悪気なく質問してしまう事項が含まれているので、慎重に面接をしなければいけない。
- 採用側も応募者に評価を受けている立場であることを認識し、法令遵守とレベルアップに取り組みたいと思う。

◆現地視察研修会報告

- ・日時 令和3年11月26日（金）午前8時20分～午後4時
- ・研修先 京都市下京青少年活動センター、柳原銀行記念資料館、崇仁地区周辺
- ・参加者 会員5社 5名
- ・研修内容 午前：講演会
演題 「このまちが好きだから」～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～
講師 崇仁発信実行委員会 代表 藤尾 まさよ さん
午後：フィールドワーク（柳原銀行記念資料館、崇仁地区周辺）
講師 世界人権問題研究センター 常務理事・事務局長 淀野 実 さん



午前中の講演会では、崇仁発信実行委員会の藤尾代表より崇仁地区の被差別の歴史や、ご自身の体験談、また京都市立芸術大学の崇仁地区への移転が平成26年1月に決定されて以降、芸大の学生と一緒に進めておられる崇仁地区のまちづくりについてお話しいただきました。

午後からは、公益財団法人世界人権問題研究センターの淀野事務局長によるフィールドワークを実施し、崇仁地区にある柳原銀行記念資料館をはじめ、在日コリアンの方が多くおられる東九条など、地域の歴史についてご説明いただきました。

今回の研修会では、無知であることは、ネット情報に惑わされ、差別や偏見を見分けられず自分も他人も傷つけてしまうことになる。「人権学習は、幸せの学習」、正しい（新しい）情報が加わることで自分の考えを修正できる。誰もが幸せに生きるために、人権を学び、考え、行動することが重要であるということを学んでいただきました。少人数での研修会となりましたが、講師の方と対話する時間を持つことができ、有意義な研修会となりました。

参加者アンケートより抜粋

- 実際に当事者の方からお話をお伺いし、話の迫力がひしひしと伝わってきた。
- フィールドワークも百聞は一見に如かずと値する。

◆第44回事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会報告

- ・日時 令和3年10月29日（金）午後2時～午後4時
- ・場所 オンライン開催
- ・参加者 35社 43名
- ・演題 「インターネットと人権」～差別の起こりとメカニズム～
- ・講師 松浦 広明 さん（公益財団法人 滋賀県人権センター）



インターネット上の差別的書き込みが絶えない背景には、自己肯定感の低さや、承認欲求等に起因して「生産性の低さ」などを名目に、他者を攻撃・排除しようとする人間の心理的弱みがあります。こうした差別が生じるメカニズムを、こんにちの現実問題として、危機感を込めてご説明いただきました。また、インターネット端末を扱う人に対し、正しい教育と情報の提供を行うことが差別情報の削除・根絶につながるほか、差別の原因となる無知や無関心から脱却し、「差別に加担しない」ではなく、「反対する」「抗う」「解消する」姿勢が必要であることの重要性を学ぶことができました。

アンケートより抜粋

- インターネットは刃物と同様で、扱う側のモラルや道徳心によって人を傷つける凶器になり得るため、インターネットとの向き合い方について改めて考える必要があると感じた。
- 人を出身地や性別、見た目などで差別されることのない世の中になればと人権学習を受けるたびにづくづく思う。

◆人権学習の取り組み

●シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 滋賀営業所



シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社は、昭和61年11月に設立し、学校給食調理業務や放課後児童クラブの運営、また図書館や公園の運営など、地方自治体の指定管理や委託事業を受託してまいりました。

守山市におきましては、平成26年2月より「チカ守山」を開業し、公園事業や駐輪場の管理にも携わっているところです。

当社は、「人と人との絆を育み、社会を健康に美しくする企業」をめざしており、企業として「人」、すなわち働く仲間とお客様こそ、最も大切にすべきものだと考え、「社会的健康」、「身体的健康」、「精神的健康」の3つをバランスよく増進させ、真の健康増進、真の幸福を実現させるために事業活動を行っています。

人権啓発の取り組みとしましては、県や市主催の研修に参加するほか、入社時の研修や季節ごとの社内研修を実施しています。自分の権利とともに、他人の権利と尊厳についても深く理解する必要があり、一人ひとりが自分らしく幸せに生きていくためには、お互いの個性を尊重し、認め合うことが大切だと考えています。

また、当社では多くの女性が活躍しており、仕事と家庭生活を両立できるよう、多様なライフスタイルや家族形態に応じた働き方についても配慮を行っているところです。

ちょっとした気づきや、あたたかい気持ちが、人権が尊重される豊かな職場づくりにつながりますことから、今後とも人権研修やハラスメント研修を繰り返し行うことで、私たち一人ひとりの考え方や行動を見つめ直す機会とし、差別や偏見のない明るい職場づくりに努めてまいります。

●株式会社中西園材

株式会社中西園材は、守山市で植木を中心とした造園資材を造園施工業者様に販売する卸売会社です。創業は大正7年で、今年で創業103年を迎えました。植木、石材、造園資材、芝苔類、エクステリア、造園道具など幅広い商品を取り扱い、造園施工業者様の日々のお仕事に必要な物が「すべて揃う」ことをモットーに品揃えに努めています。全国の産地から取り寄せられた様々な植木は数千点を超えおり、当社販売センターは、一般社団法人日本植木協会の「日本列島植物園」にも認定されています。

社員は20名で、「プロを支える最良の裏方」を目指し、社員のスキルアップのための「資格支援制度」を積極的に取り入れるなど、造園施工の最前線で活躍されている施工業者様をサポートできる幅広い知識と確実な技術を持った人材の育成に努めているところです。

人権啓発の取り組みといたしましては、県や市主催の研修会への参加のほか、当社では子育て世代が多いことから、有給休暇の時間単位取得や子どもの急病など突発的な休みも取りやすい環境整備、さらには残業時間の低減のため、会議数の削減や会議進行の工夫を行い業務の効率化を進めるなど、「生き生きわくわくはたらく職場」を目指し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

また、職場内での困りごとや悩みを相談があれば速やかに対処し、誰もが安心して働ける環境を整えているほか、仕事には緊張感がありながらも適度な雑談が飛び交うなど、なごやかな雰囲気づくりにも努めております。

今後とも、人権が尊重される豊かな社会の実現のため、人権意識を高め、正しい知識を学ぶ機会を創出し、人権啓発に取り組んでまいります。

